



小坪小だより

6月号

横浜市立小坪小学校

横浜市港南区港南台4-11-1 電話 832-0617

違いとよさを大切に

校長 芦垣 幸代

小坪小学校では、今年度、「主体的に考える」「伝え合う」「自分と他者の違いとよさを大切にする」3つの姿の育成を目指し取り組んでいます。4月の始業式で子どもたちにも、一人ひとりの目標を大切にしてほしいということと共に、学校みんなで頑張りたいこととして伝えました。新年度がスタートして、各学年の学年目標も話し合われました。学校の重点目標の中の「自分と他者の違いとよさを大切にする」という目標が、どの学年の目標にもこめられています。

現行の小学校学習指導要領の前文に、「一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」とあります。

一人ひとりに得意なことも苦手なこともあるでしょう。よさを伸ばし、苦手なところを努力していくことは大切です。同時に、もっと広い意味で「得意なこと、苦手なことがある、そんな自分」をまるごと「なかなかいい」と思えるようになってほしい、同じように、自分と考えの違う多様な人がいること、関わっていくことで「なるほど」「そういうふうに考えたんだ」「おもしろいな」と、違いを受け入れられるようになってほしいと思います。それは、何もしないで育つものではないと思います。日々の学びの中で、関わり合い、伝え合うことで相手を知ります。一緒に課題について考え話し合ったり、活動を計画し、取り組んでいたり、という積み重ねの中で、「話し合っただけでこれまで気が付かなかったことに気付いた」「もっと～したい」「大変だったけどやり遂げた」「協力してできた」と自他への気付きが生まれます。だから、「自他の違いとよさを大切にする」「主体的に考える」「伝え合う」ことは、互いに関わり合っていることなのです。そして、毎日の生活の中で、学校、家庭、地域の協働で育まれていくことだと思います。

今年もたてわり活動が始まりました。6年生は5年生と共にグループのリーダーとなり、計画を立てています。どの学年も下級生に優しく声をかけています。下級生も、上級生の話をよく聞き、自ら楽しもうとしている生き生きとした姿がすてきです。



こういうふうに体をたおしていくんだよ。

たてわりグループで体カテスト

